



画像出典：「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」公式サイト



1つ目は、泣ける作品として有名な「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」である。あらすじは、長きにわたる大陸を南北に分断した大戦は終結し、戦時中、軍人として戦ったヴァイオレット・エヴァーガーデンは、軍を離れ、戦場で大切な人から別れ際に告げられた「ある言葉」を胸に抱えたまま大きな港町へ来ていた。ヴァイオレットは、この街で「手紙を代筆する仕事」を通して、その言葉の意味を探していくというもの。京都アニメーション制作で、映像の美しさが大きな魅力となっており、人物はもちろん、町並みなどの景色が独特の世界観と相まって、美しく繊細な映像となっている。また、ストーリーも自然に涙がこぼれるほど、「手紙」を通して素直な気持ちを伝えるという身近な行為に共感して、物語がフッと胸に入ってくる素晴らしいもののあので、見たことがない人は絶対に見てほしい作品だ。



2つ目は、可愛いキャラクターデザインとは想像できないストーリーの作品の「メイドインアビス」である。あらすじは、巨大な大穴『アビス』の縁に築かれた街、『オース』で暮らす探窟家見習いの少女・リコは母のような偉大な探窟家になることを夢見ていたある日、探窟中に少年の姿をしたロボット・レグと出会い、アビスに挑んでいくというもの。可愛い絵柄とは裏腹に、アビスの謎や幻想的な世界観がとても魅力的。また、グロテスクなシーンや鬱要素がある重いシーンが描かれているので、万人受けではないが、それを

須田宇宙 准教授による  
e-Learning教材  
公開中！  
「見て分かる、使って分かる」  
詳しくはこちら>>

